

EGOTERIC

SZ-1s

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。






エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。





末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
 分解禁止	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
	この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。
 強制	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

 注意		以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>	
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
	<p>この機器は8.1kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p>	
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>	
	<p>電源コードを熱器具に近付けない。</p> <p>コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>	
 電源プラグをコンセントから抜け	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p>	
	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	

安全にお使いいただくために (続き)

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。



注意

乾電池に関する注意



禁止

乾電池は絶対に充電しない。

破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



注意

電池に関する注意



強制

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。

間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく。

液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



禁止

指定以外の電池は使用しない。

新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。

破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



分解禁止

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。

ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

分解しない。

電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。

費用についてはお問い合わせください。

目次

安全にお使いいただくために	2
お使いになる前に	5
ディスクについて	6
リモコンについて	7
接 続	8
各部の名称 (本体)	10
各部の名称 (ディスプレイ)	11
各部の名称 (リモコン)	12
再 生	14
選 曲	16
プログラム再生	17
リピート再生	18
ディスプレイ	19
ディマー	19
ワードシンク	20
設定モード	20
出荷時の状態に戻すには	22
困ったときは	22
寸法図	24
リアパネル拡大図	25
仕 様	26
保証とアフターサービス	27

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation.

Reverse engineering and disassembly are prohibited.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

お使いになる前に

付属品の確認

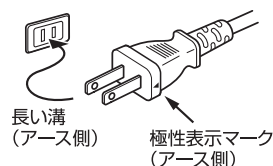
万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

- 電源コード×1
- リモコン(RC-1055)×1
- リモコン用乾電池(単3)×2本
- フェルト×4枚
- 取扱説明書(本書)×1
- ご愛用者カード×1

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを開けたままリモコンのOPEN/CLOSEボタン(▲)を押してディスクトレイを開けないでください。強い力でディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 床を傷付けたくない場合は、脚の裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク



上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDなどは再生できません。
- DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクやDualDiscは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

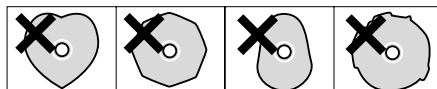
取り出し方

持ち方



使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどを貼ったあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



リモコンについて

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

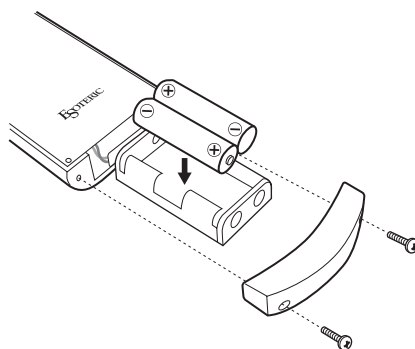
ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。



- 電池ケースを戻すときは、電池ケースのケーブルを挟まないようにご注意ください。

電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

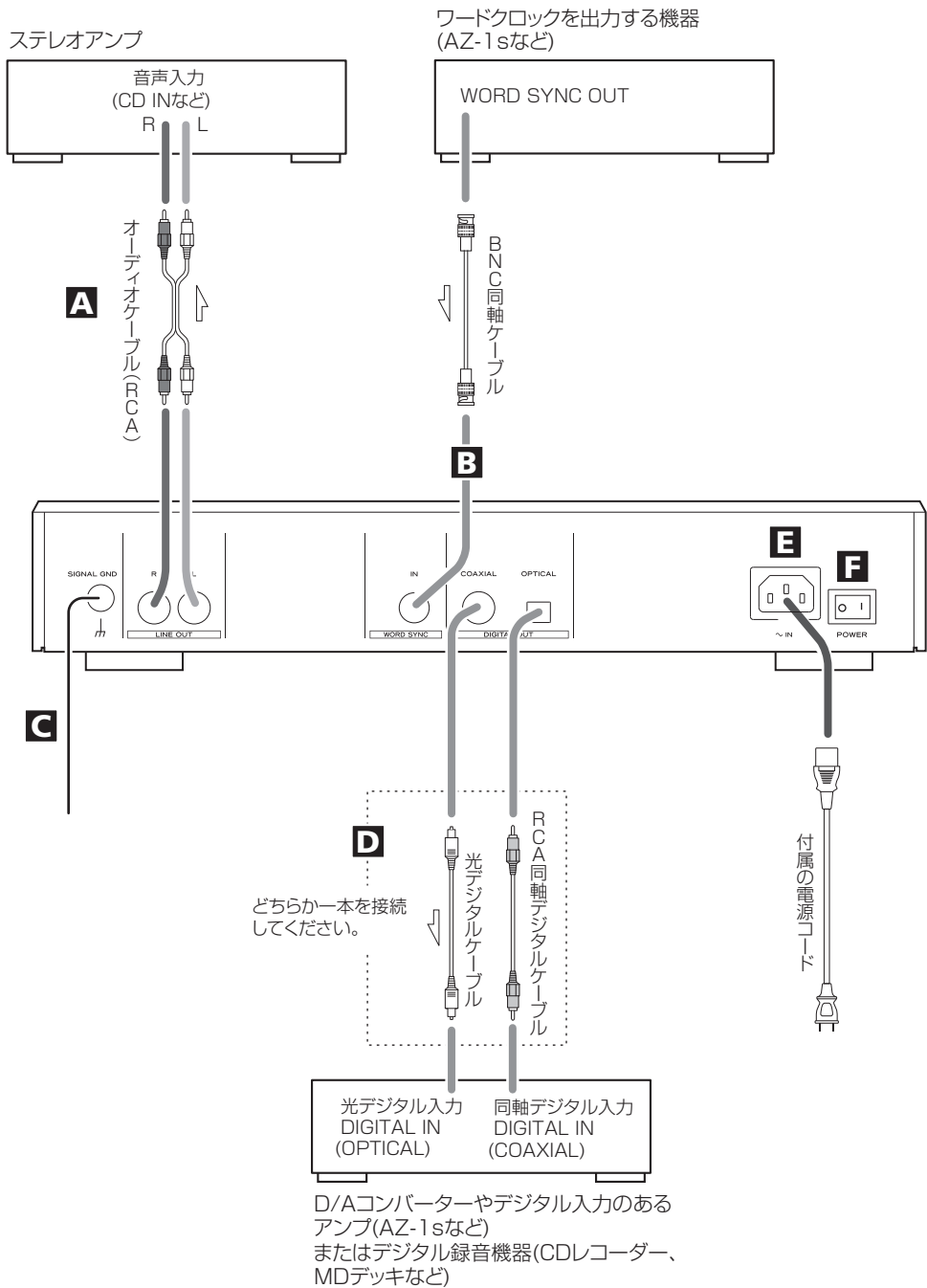
電池についての注意

- ⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となります。4ページの注意をよく読んでご使用ください。

接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声出力端子

2チャンネルのアナログ音声を出力します。

接続には市販のRCAオーディオケーブルをお使いください。

本機のR端子とアンプのR端子、本機のL端子とアンプのL端子をそれぞれ接続してください。

B ワードシンク端子

同期信号を入力します。

市販のBNC同軸ケーブルを使って、マスタークロックジェネレーターやD/AコンバーターのWORD SYNC OUT端子と接続してください。

C アース端子[GND]

市販のアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

D デジタル音声出力端子

CDのデジタル音声を出力します。

本機のデジタル出力端子(COAXIALまたはOPTICAL)を、デコーダー内蔵アンプやデジタル録音機器(CDレコーダーなど)のデジタル入力端子と接続します。

接続には市販のケーブルをお使いください。

COAXIAL : RCA同軸デジタルケーブル

OPTICAL : 光デジタルケーブル(TOS)

- 本機の光デジタル端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。
- スーパーオーディオCDのデジタル音声は出力できません。

E 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

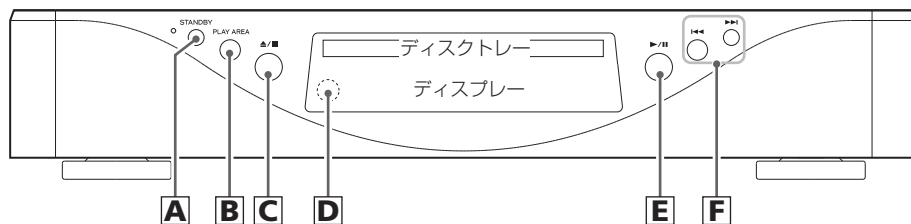
- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

F 主電源スイッチ [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。

各部の名称 (本体)



A スタンバイボタン [STANDBY]

本体背面の主電源スイッチがオンのときに、このボタンで電源のオン/スタンバイを切り換えることができます。スタンバイインジケータは、スタンバイ状態のときは赤く、オンのときは青く点灯します。

B 再生エリアボタン [PLAY AREA]

停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアが切り替わります。

2秒以上押すと設定モードになり、本体のディスプレイに設定が表示されます。

C オープン/クローズ/停止ボタン [▲/■]

停止中に押すと、ディスクトレイを開閉します。

再生中に押すと、再生を停止します。

(15ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(13ページ)

E 再生/一時停止ボタン [▶/||]

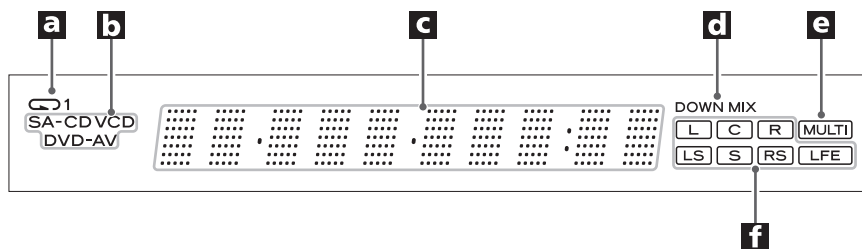
ディスクを再生または一時停止します。(14、15ページ)

F スキップボタン [◀◀/▶▶]

前または後ろにスキップします。再生中に1秒以上押し続けると再生スピードが変わります。

(15ページ)

各部の名称 (ディスプレイ)



a リピートインジケータ

リピート再生中に点灯します。

b ディスクインジケータ

セットされているディスクの種類を表示します。
DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDをセットするとインジケータが点灯しますが、再生はできません。

c メッセージ表示部

再生時間など各種メッセージが表示されます。

d ダウンミックスインジケータ

マルチチャンネルのアナログ音声をダウンミックスして出力しているときに点灯します。

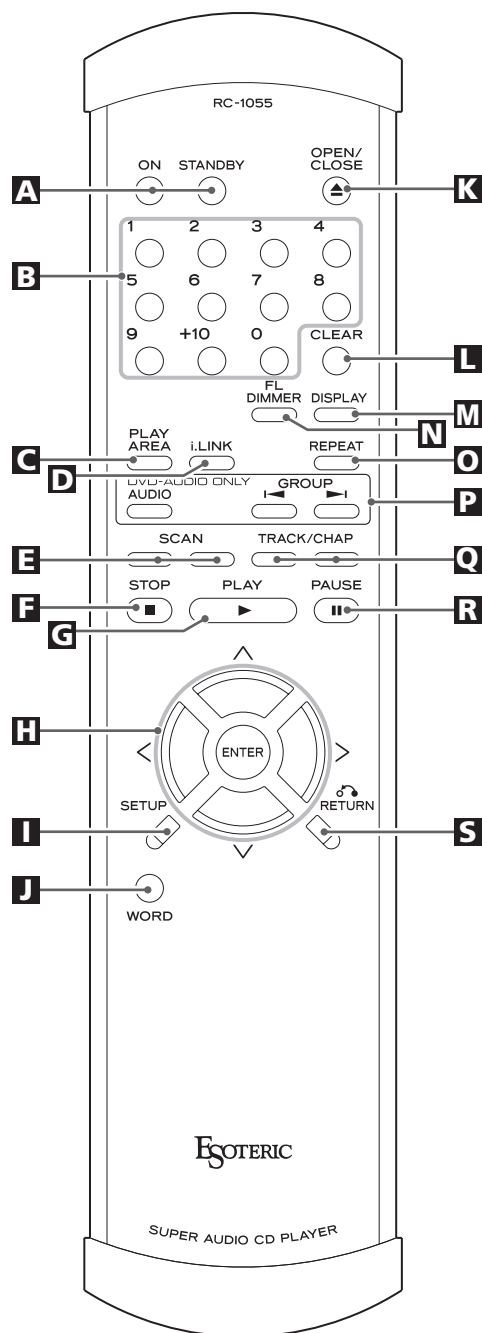
e マルチチャンネルインジケータ

アナログ音声出力の設定が「マルチch」のときに点灯します。

f チャンネルインジケータ

再生中の音声チャンネルが点灯します。

各部の名称 (リモコン)



A オン/スタンバイボタン [ON/STANDBY]

本体背面の主電源スイッチがオンのときに、ONボタンを押すとオンに、STANDBYボタンを押すとスタンバイに切り換わります。スタンバイ状態のときは、スタンバイインジケータが点灯します。

ONボタンを押すと、リモコンの白いボタンが数秒間点灯します。

B 数字キー

選曲に使用します。

C 再生エリアボタン [PLAY AREA]

停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアが切り替わります。(16ページ)

D i.LINKボタン

本機ではプログラム再生のときに使用します。(17、18ページ)

E スキャンボタン [SCAN]

早送り/早戻しに使用します。(16ページ)

F 停止ボタン(■)

再生を停止します。(15ページ)

G 再生ボタン(▶)

ディスクを再生します。(14ページ)

H 方向ボタン(上下左右)とENTERボタン

本機では使用しませんが、AZ-1sをお使いの場合は、▲▼でボリュームのアップダウン、◀▶で入力の切り替えができます。

ENTERボタンは使用しません。

I セットアップボタン [SETUP]

本機では使用しません。

J ワードボタン [WORD]

ワードシンクのオン/オフを切り換えます。オンにすると、外部入力クロックをマスターとしてシンク動作します。(20ページ)

K オープン/クローズボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します。(15ページ)

L クリアボタン [CLEAR]

数字キーを押し間違えたときなどに使います。

M ディスプレーボタン [DISPLAY]

再生中にこのボタンを押すと、ディスプレイの表示が切り換わります。(19ページ)

N FLディマーボタン [FL DIMMER]

本体のディスプレイの明るさを4段階で調節できます。(19ページ)

O リピートボタン [REPEAT]

ディスクのリピート再生に使用します。(18ページ)

P DVDオーディオ専用ボタン

以下のボタンはDVDオーディオ専用です。将来、SZ-1sをバージョンアップすると使えるようになります。

オーディオボタン [AUDIO]

再生中にこのボタンを押すと、音声切り換わります。

グループボタン [GROUP]

前または後ろのグループにスキップします。

Q スキップボタン (◀◀/▶▶)

前または後ろのトラックにスキップします。(15ページ)

R 一時停止ボタン (II)

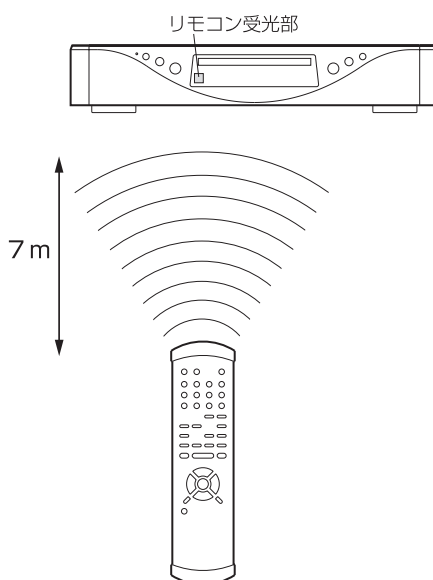
再生を一時停止します。(15ページ)

S リターンボタン [RETURN]

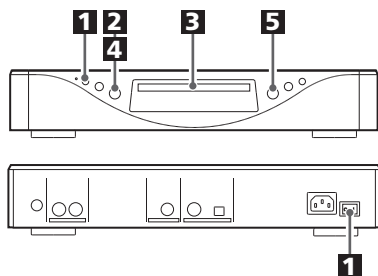
本機では使用しません。

使用上の注意

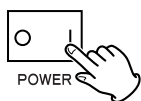
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。



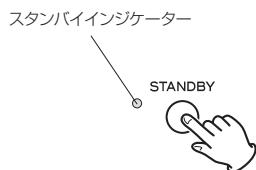
再生



1 本体背面の主電源スイッチをオンにする。



主電源スイッチはオンで、スタンバイインジケータが赤く点灯している場合は、STANDBYボタンを押してオンにしてください。



2 オープン/クローズ/停止ボタン(▲/■)を押す。

ディスクトレイが手前に出ます。



3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイの中央にのせる。

- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレイを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレイが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレイの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

4 オープン/クローズ/停止ボタン(▲/■)を押す。



ディスクトレイが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

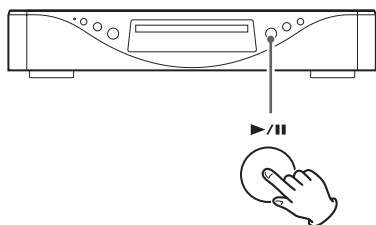
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。

5 再生/一時停止ボタン(▶/||)を押す。

再生が始まります。



一時停止するには

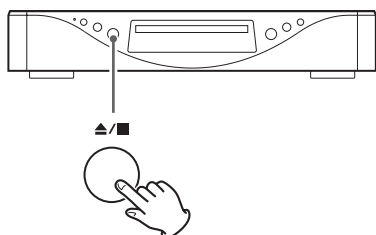


再生中に再生/一時停止ボタン(▶/||)を押すと再生が一時停止します。

再生/一時停止ボタン(▶/||)を押すと、再び再生が始まります。

リモコンでは一時停止ボタン(||)を使います。

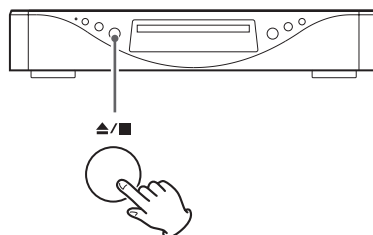
再生をやめるには



オープン/クローズ/停止ボタン(▲/■)を押すと再生が停止します。

リモコンでは、停止ボタン(■)を使います。

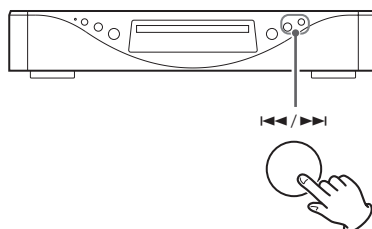
ディスクトレイを開閉するには



停止中にオープン/クローズ/停止ボタン(▲/■)を押すとトレイが開き、もう一度押すと閉まります。

リモコンではオープン/クローズボタン(▲)を使います。

スキップするには

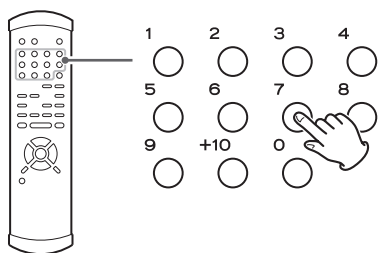


再生中にスキップボタン(▶▶)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

- ◀◀ ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、◀◀ ボタンを続けて押してください。ただし、曲の最初の1秒以内で◀◀ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。
- 停止中または一時停止中に◀◀/▶▶ ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

選曲

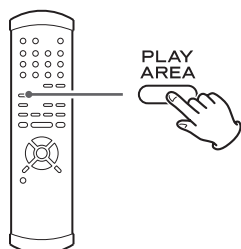
数字キーで選んで再生するには



再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

3の場合 : 3
12の場合 : +10→2
20の場合 : +10→+10→0

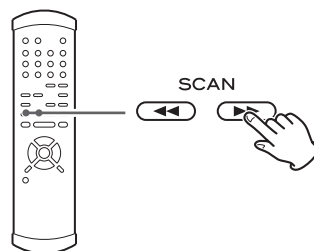
再生エリアを切り換えるには



スーパーオーディオCDには、2チャンネルとマルチなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているものがあります。

停止中に本体またはリモコンのPLAY AREAボタンを押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えることができます。

早送り/早戻しするには(スキャン)



再生中にリモコンのスキャンボタン(◀◀/▶▶)を押すと早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、PLAYボタン(▶)を押してください。

スキャンボタン(◀◀/▶▶)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が3段階に変わります。

▶▶ : 早送り(1)→早送り(2)→早送り(3)
→PLAY (通常の再生)

◀◀ : 早戻し(1)→早戻し(2)→早戻し(3)
→PLAY (通常の再生)

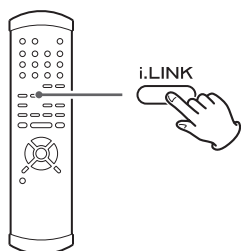
● 本体の場合は、再生中にスキップボタン(◀◀/▶▶)を1秒以上押すと早送り/早戻しの速度が変わります。

プログラム再生

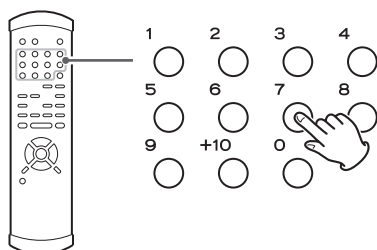
聴きたい曲を聴きたい順に、30曲までプログラムできます。

1 停止中または再生中にi.LINKボタンを押す。

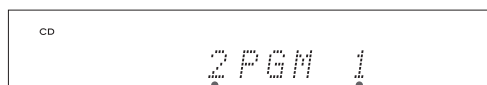
再生中の場合は、その曲が1番目にプログラムされません。



2 数字キーでプログラムしたい曲番を選ぶ。



3の場合 : 3
 12の場合 : +10→2
 20の場合 : +10→+10→0



プログラムされたトラック番号

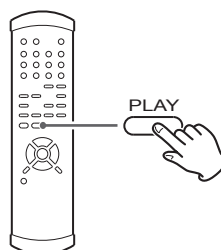
プログラム番号

複数の曲をプログラムするときは、続けて数字キーを押してください。

- 数字キーを押し間違えたときは、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした曲だけを消去できます。
- そのディスクに存在しない番号はプログラムできません。

3 プログラムが終わったら、PLAYボタン(▶)を押す。

プログラム再生が始まります。

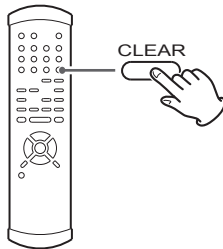


- 再生中にプログラムした場合は、PLAYボタンを押す必要はありません。

リピート再生

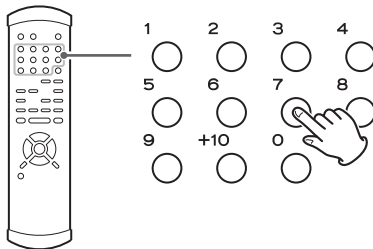
プログラムを修正するには

CLEARボタンを押すと最後にプログラムした番号が消去できます。



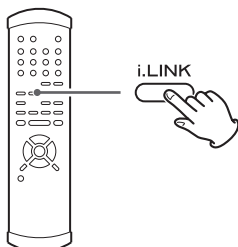
プログラムを追加するには

停止中または再生中に、数字キーで追加したい番号を選んでください。

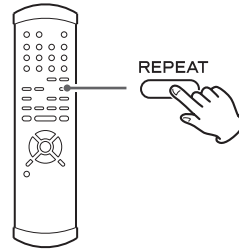


通常の再生に戻るには

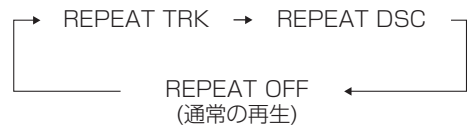
i.LINKボタンを押すとプログラムモードは解除されます。プログラム再生中にi.LINKボタンを押した場合は、そこから通常の再生に戻ります。



- 通常の再生に戻るとプログラム内容は消去されます。また、ディスクトレイをオープン/クローズした場合もプログラム内容は消去されます。



再生中にREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。



REPEAT TRK (トラックリピート)

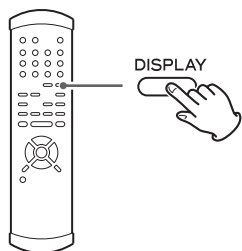
再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

REPEAT DSC (ディスクリピート)

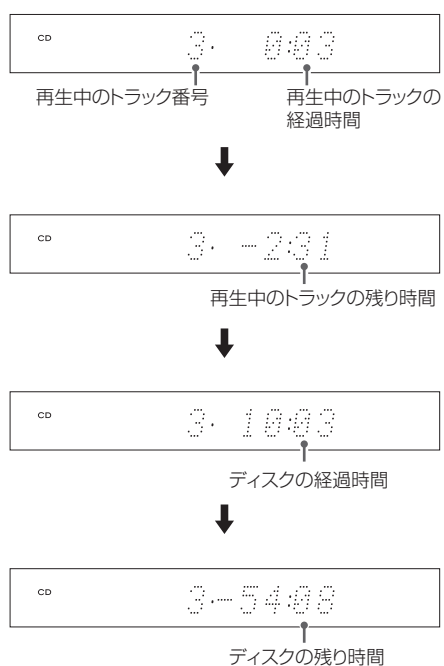
再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

- 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

ディスプレイ



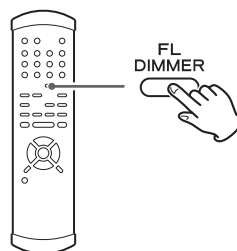
再生中または一時停止中にDISPLAYボタンを押すと、ディスプレイの表示が次のように切り換わります。



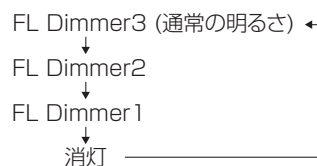
● 停止中はディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。



ディマー

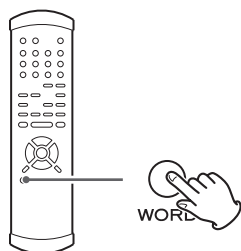


本体のディスプレイとボタンインジケータの明るさを4段階で調節できます。



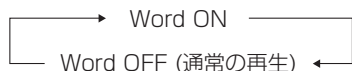
● 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約3秒間だけディスプレイが点灯します。

ワードシンク



エソテリックAZ-1sやG-0sなど外部同期信号(ワードクロック)を出力する機器と接続し、システムの同期(クロック)を一元化して再生するときや、内部クロックのかわりに高精度な外部クロックでシンク動作させるときに使用します。

WORDボタンを押すたびにオンとオフが切り換わります。



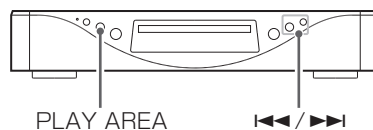
● 本機は以下のクロックに対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。

44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz
100kHz(ユニバーサルクロック)

● クロックの感知には数秒かかります。クロックを感知できない場合は「No Word!」を表示します。

● あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。

設定モード



1 停止中に本体のPLAY AREAボタンを2秒以上押し続ける。



設定モードになり、ディスプレイに「DF>***」が表示されます。

(***の部分は設定によって異なります)

以下の操作をすると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

10秒以上放置する。

もう一度PLAY AREAボタンを2秒押す。

オープン/クローズ/停止ボタンを押す。

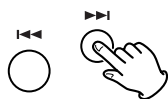
2 PLAY AREAボタンをくり返し押しして、変更する項目を選ぶ。



PLAY AREAボタンを短く押す度に、表示が変わります。

DF → DSD → D_OUT → WORD → 通常表示

3 ◀◀/▶▶ ボタンを使って、設定を変更する。



4 PLAY AREA ボタンを2秒以上押し続けて、設定を終了する。



または、通常の表示になるまでPLAY AREAボタンをくり返し押すか、10秒以上放置すれば通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

変更できる項目と設定

DF (デジタルフィルター)

PCM信号再生時のデジタルフィルターの特性を切り換えます。

入力毎に異なる設定ができます。

「Wide」または「Narrow」を選んでください。

Wide

スローロールオフの特性を持ったフィルターで、より自然な倍音を再現します。

Narrow

シャープなロールオフ特性のフィルタで、切れの良い音色が特長です。

DSD

DSDをローパスフィルターなどのプロセッサー処理をして出力する場合は「Normal」、プロセッサー処理をせずに出力する場合は「Direct」を選んでください。

- Directに設定すると、アナログの出力レベルがNormal時と比べて3dB下がります。
- Directに設定して、スーパーオーディオCDを再生した際にスピーカーから変調ノイズが出る場合は、「Normal」に設定してください。

D_OUT

デジタル出力のオン/オフを設定します。

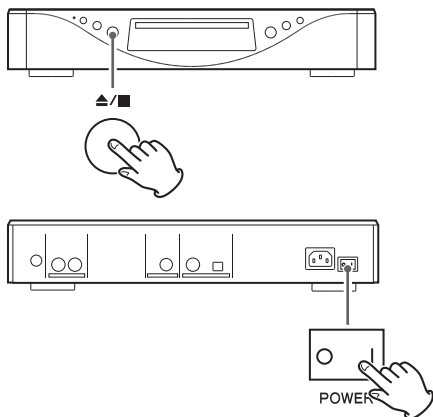
本機のデジタル音声出力端子から出力する場合は、オンにしてください。

WORD

ワードモードのオン/オフを設定します。

リモコンのWORDボタンでも切り替えられます。

出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

電源がオフの状態、本体のSTOPボタンを押しながら電源を入れると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ 本体背面の電源スイッチをオンにしてください。（14ページ）

リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。（14ページ）
- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。（7ページ）
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。（13ページ）

テレビなどが誤動作する。

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

再生できない。

- ➔ ディスクをトレーの中心に正しくセットしてください。（14ページ）
- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上に入れて直してください。（14ページ）
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。（7ページ）
- ➔ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。（23ページ）

ボタンを押しても反応しない。

- ➔ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。

- ➔ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

- アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(8ページ)
- アンプなどの音量を調節してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 一時停止中は音が出ません。再生ボタンを押して通常の再生に戻してください。

プレーヤーでスーパーオーディオCDを再生したときに音が出ない。

- スーパーオーディオCDのデジタル音声は、本機では入力できません。アナログ信号入力端子に接続して再生してください。

「No Word!」が表示される。

- ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロック機器との接続、マスタークロック機器の電源や出力状態を確認してください。
- ワードクロックが入力されていない時は、ワードシンクはオフにしてください。(20ページ)

「WRD UNLCK!」が表示される。

- 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

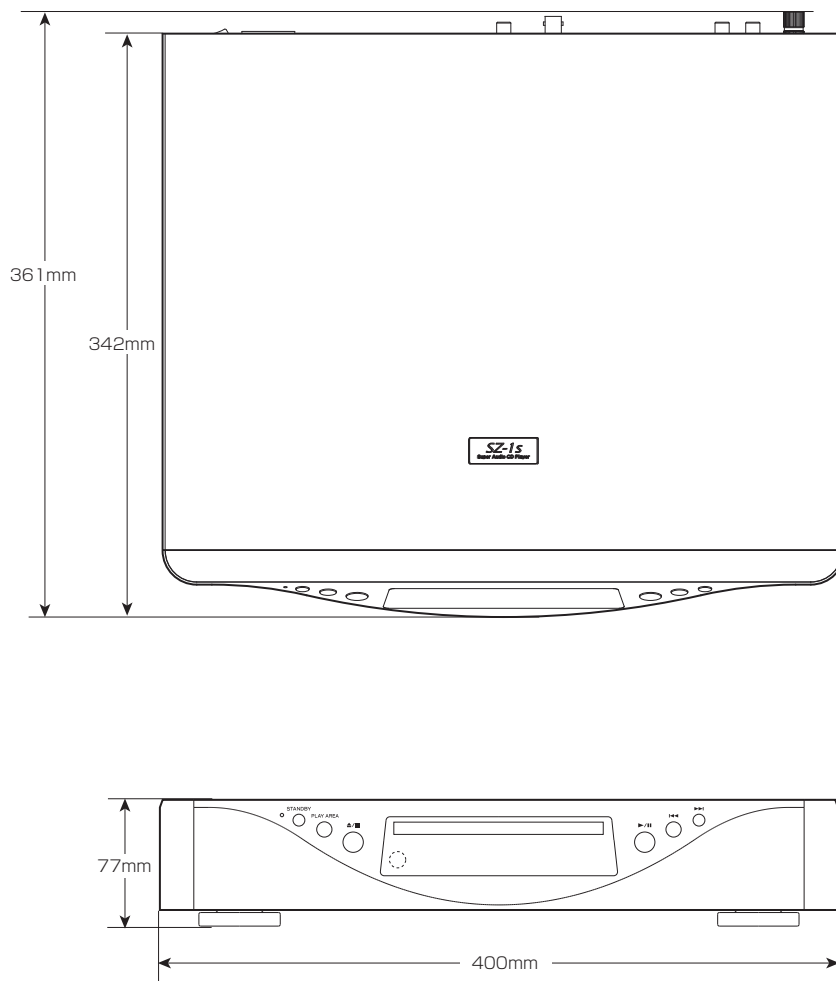
お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

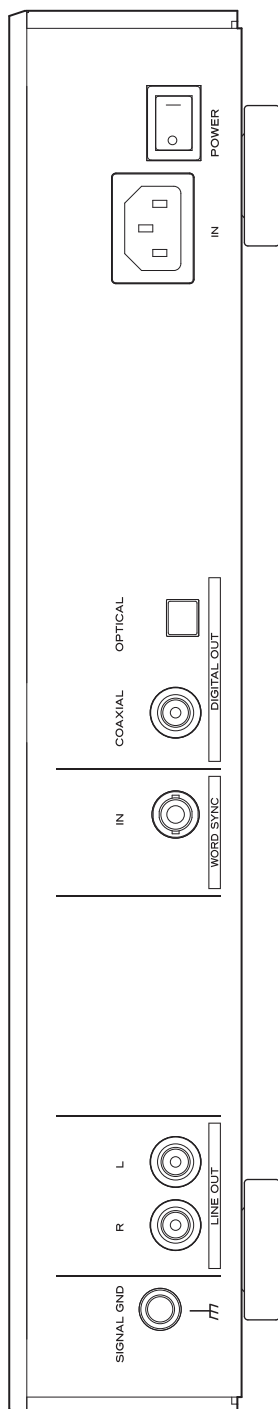
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

- ⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

寸法図



リアパネル拡大図



仕 様

再生可能ディスク

スーパーオーディオCD、CD

音声出力

アナログ音声出力 RCA×1系統
最大出力レベル (1kHz、フルスケール、10kΩ負荷時) 2.2 Vrms±0.1V

出力特性

周波数特性 5Hz～50kHz (スーパーオーディオCD、DSD設定：Normal)
5Hz～80kHz (スーパーオーディオCD、DSD設定：Direct)
S/N比 130dB
ダイナミックレンジ 107dB
歪率 0.002%

デジタル出力

光デジタル出力 光デジタル端子×1
出力レベル -15～-21dBm
同軸デジタル出力 RCA×1
出力レベル 0.5 Vp-p/75Ω

ワードシンク入力フォーマット

端子 BNC
入力可能周波数 (矩形波) 44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz、100kHz
入力レベル TTLレベル相当/75Ω

一般

電源 100V AC 50-60Hz
消費電力 18W (スタンバイ時：1.5W)
外形寸法 (W x H x D、突起部を含む) 400mm x 77mm x 361mm
質量 8.1kg
許容動作温度 +5℃～+35℃
許容動作湿度 5%～85% (結露のないこと)
許容保管温度 -20℃～+55℃

付属品

電源コード×1	フェルト×4枚
リモコン(RC-1055)×1	取扱説明書(本書)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本	ご愛用者カード×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から3年です。

- 保証書発行には約1ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合(6ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等)は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けれます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
 - (7) 保証書の提示がない場合
 - (8) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

23ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCDプレーヤー SZ-1s

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な回収費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00
です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。